



# 一の宮っ子

第21号

発行  
一宮市児童育成連絡協議会  
事務局

一宮市社会福祉センター  
思いやり会館内・2階

一宮市桜1丁目12番1号  
TEL・FAX 0586-73-0356

ホームページアドレス  
<http://home.owari.ne.jp/~jido-ren/>

平成24年7月6日



## 「指導者の皆さんへ」 成長は子どもとともに

一宮市児童育成連絡協議会  
会長 林 茂

先ずは一言、本年度も指導者の皆さんのお力で、一年間「安全で」「楽しい」子ども会活動にしていたきたいと思います。

活動するに当たり、価値観や生活スタイルの多様化により時間が執りにくくなっているのは現実です。しかし、子ども会が楽しく、笑顔のあるものにするためには思考をポジティブ方向へセットする必要がありますがあると思います。「共働きで時間が無い、子どもは塾・部活で忙しい」など言い出せば活動ができない理由はいくつも出てきます。そんな時、忙しく限られた時間を今一度見つめなおして子ども会活動に少しでも投入していただき、そこでどのようにしたら、何が与えられるか一考してみるのはどうでしょうか。

たとえば、例年同じ行事でも内容に少し変化をもたせるようにアドバイスして、子ども達の自主性・やる気に任せるのも一つです。子ども達の考えやアイデアが出なかったり、なかなか内容が決まらず、は

がゆい思いをするかも知れませんが、そこは我慢して子ども達の提案を待つことも必要だと思えます。待てばきっと子ども達から何らかの意見が出てくることでしょう。活動するにあたり、ユニークなアイデアに応援を求めるのも一つの方法です。応援をして欲しい時は「子ども会事務局」までご連絡ください。

ところで、子ども達は活動を通していろいろな体験をしますが、その中で生じるハドルを、一つ一つ越えなければなりません。高い低いは別として、子ども達はこのハードルを越えて大きく、たくましく成長していきます。その機会をつくってやるのが大切なことです。成長し最後までやり遂げることができれば、きつと嬉々とした目が見られ、自信をもった子どもに育っていくことでしょう。なお、失敗してもそれも経験です。きつと、子ども達はその失敗を反省し、次の活動に向けての基礎にしてくれると信じてい

## 一宮市子ども会指導者研修会



▲ 皆で助け合って、共に学んで、本年度も実りある活動を目指しましょう！

ます。大人の役割としては、どちらになろうと良いところを認めて、褒めてやることの方が大切です。褒められることによって、子ども達は自分に自信を持つばかりか人の役に立

っていると感じるはず。それでは、この一年間子ども達と一緒に、子ども会活動を楽しんでください。



# 平成24年度 一宮市子ども会

## 指導者研修会

開明連区 高野島なかよし子ども会  
指導者 棚橋 千秋

ゴールデンウィークの初日、一宮市民会館で開催された、「子ども会指導者研修会」に参加しました。

法相宗大本山、薬師寺 副執事長、加藤朝胤師による講演の中で、この世で一番幸せなことは、「身心安楽」である。というお話がありました。

「身心安楽」とは、体が楽ちんで、心が安らかであるということ。心と体が健康であることが真の幸せである。

私も子供が誕生した時は、健康で心のやさしい子に育ってくればそれで十分と思っただけです。

ところが今は、あれもこれもと欲が出て、口うるさく言ってしまう毎日です。

「かたよらないころ  
こだわらないころ  
とらわれないころ  
ひろく ひろく  
もつと ひろく

これが般若心経  
空のころなり

講演の最後に、皆で何度も



▲ 親と子どもともに成長できる毎日を

合唱したお釈迦様の教えを思い出し、明日からのゴールデンウィーク、心安らかに、幸せな時間を子供と一緒に過ごすことができますように。

木曾川町連区玉十五区子ども会  
指導者 原 由美子

子ども会指導者研修会に初めて参加させて頂き、私たちが子ども会役員が感じたことは、一宮市民憲章です。私たちの子供が保育園に通園している時に総会でみんなで唱和した事を思い出しました。八木副会長が家庭に例えて話された通り「なるほど」と、思うことができました。

とが多々あり自分の子供の事を考え、私も唱和しました。

いちのみやの「い」いのちを大切にということは、本当に大事です。小さいながらも悩み自ら命をたつ子供もいます。親が助ける事ができず悲しい思いをして一生後悔することもあります。親が助けなくても友達が助けてくれるときもあります。

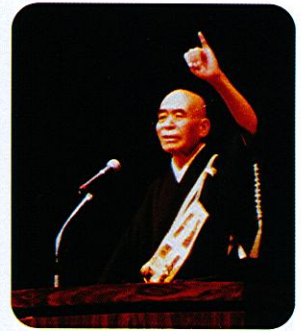
いちのみやの「ち」ちきゅうを愛し、子供達が大人へと成長をしていったとき、今の状態を日本は保っていられるのでしょうか。子供を私たちは守ることができるとは、うか。不安になります。

子供に親が成長させられ、親が子供に指導していき日々勉強の毎日です。今日は、いろいろな話を聞かせて頂きありがとうございました。

## 体験発表

千秋町連区 塩尻子ども会  
指導者 今西 典久

セントレア滑走路ツアーを計画する事になったのは、両親が共働きで子ども会の行事に全く参加しない子がいると聞いた事から始まりました。



▲ 幸せなよりよい家庭を築くことは

幼少の頃の自分の姿と重なり、親の都合で参加できない子ではなくそうと、全員が参加できるツアーを計画したので。

六年生のお母さん達にもお手伝いを頂き、いよいよ決行の日、元氣よく皆が集まって来ました。空港に着くと、説明を受け、手荷物等の検査後、バスで滑走路に入り、やっと着陸する飛行機を頭上に見てその大きいこと、爆音に皆大歓声!! 離陸する姿を真横から見ると、離れ、大満足の一日でした。

それまでなかなか子ども会に参加していなかった子も帰宅後、その様子をうれしそうに家で話したとお父さんよりお礼の電話を頂き、その後は、子ども会の行事にも積極的に参加してくれるようになり、本当にこのツアーを企画して良かったと思えました。

大和町連区第1つくし子ども会  
指導者 奥田夕希子

私達の子ども会では、他

の子ども会には無い、交通少年団を自治会の協力のもとと結成しています。入団式では子供達がパトカーに乗車し、マイクで交通安全PR活動を行います。さらに今年は、一宮市民会館で行われた、新年交通安全総決起大会で、交通安全宣言を立派に唱和いたしました。

また、大和南部夏祭りでは、櫓の上で太鼓を叩きました。厳しい練習の成果もあり、夏祭り当日には、暗譜で太鼓を叩く事が出来る様になりました。

毎月の様に行事があり、打ち合わせや準備で、家を空ける事も多々ありましたが、主人や両親に子供達の面倒を見て貰いながら、役員や地域の方々のご協力で、何とか一年乗り切れる事が出来ました。初めての指導者会議の時に、役員の方が「困ったら、一人で考えこまず、周りに声を掛けて助けて貰いなさい」とおっしゃった通りになりました。

今まで経験した事がなかった事を、我が子と共に体験出来て、とても良かったと思っております。また地域の方々のつながりを持つ事が出来た事は、これからの私にとつて、財産になったと思います。



# 子ども会 福祉週間事業

宮西連区 そよかぜ子ども会  
四年 古澤 桃恋



▲相手の気持ちを考えられる子供に

私は五月十二日に映画会に行きました。少年のカイとモイトの兄弟は、ビニールがからまっているクジラにピークと名前をつけて、きずの手あてをしてあげました。そんなピークが、となりの町の「シーサーカス」の大人達につかまってしまうました。そんなピークをたすけるためにカイは「シーサーカス」にしのびこみます。しかし、だん長のむすめのマイラに見つかり、とじこめられたけど、だん長がクジラをだんだんきらいになつてピークを海にかえました。わたしは、このえい画を見てかんじたことは、一つあります。一つ目は、きずついた動物の手当てをして、いたわる心の大切さです。自分もびょうきをし

たり、けがをしたたら、手当てをしてもらおうと、えらさやいたさが、少なくなつて安心します。だから人がびょうきになつたり、けがをしたたら手当てをしてあげたいと思います。

二つ目は、こまっついているときにゆう気を持って、とびこむ力がほしいと思いました。カイは、ピークをたすけに一人でシーサーカスに行きました。そんなカイにわたしは、びっくりしたとどうじに感じました。お母さんクジラの元に行けてよかったです。

貴船連区 寺島町一丁目子ども会  
六年 岡田 桃佳

私は、もう小学校生活最後の運動会だったので、とても、楽しみながら、参加できました。特に、リレーは、寺島子ども会が3位にはいれたので、うれしかったです。

最初は、予選の時、「自分のせいで落ちたらどうしよう…。きんちようするなあ。」

と思つていました。けれど、四年生の友だちや、五年生の友だちが、一位になつてくれたので、予選がとりました。準決勝では、ちよつと自信がつきました。でも、やっぱりきんちようはしました。めいっばい走つたら、決勝の



▲集中してめざせゴール!

こりました。その時、「やったあ! 決勝だ。もうとおらないかと思つた:。」と思つました。

決勝のとき、とても速いスペクトルAのたいせんでした。「うわっ。もう一位はむりかな。:。はいれても二位かな。」と思つました。予想どおり、スペクトルAが一位でした。寺島は三位でした。小学校最後の福祉運動会でしたが、一位にはなれませんでした。でも、三位で入賞したので、「入賞しただけでもよかったですなあ:。」

と思つました。六年間の中で、最高の福祉運動会となりました。

神山連区 みなみやま子ども会  
六年 古田安佑実

ゴールデンウィークの最後の日、子ども会でビーチバレーボール大会に参加しました。私はこの大会に初めて出たのは四年生の時でした。その時「バレーボールって楽しいなあ」と思い、五年生になつてから



▲みんなで力を合わせて勝負!

バレーボールクラブに入りました。だから今回の試合は絶対点数を入れたと思つました。いつも使つているボールよりやわらかくて、なかなか思うように出来ませんでした。真つすぐうつても違う方向に行つてしまひ、アウトになりとてもくやしい思ひをしました。でも、上手に返せた時は点数を入れることが出来てとてもうれしかったです。同じチームをうち返して点数を取つていと思ひました。点が入るととてもうれしくてわくわくしたけど、相手チームに点数をぬかされた時はすくあせつて

大志連区 日の出子ども会  
六年 宮田 晃希

5月12日に毎年恒例の児童福祉大会がありました。競技が二年、三四年、五六年と分かれていて、親子で力を合わせて楽しむ種目を競い合います。僕は六年生なので「バドミントンラケットボール」運びをしました。ラケットの網の上にボールを乗せて落とさない様にお母さんと一緒に、ゴールに向かって慎重に走るゲームをしました。この日は、風がとても強くて、すぐにボールが落ちてしまつて、なかなか前に進めませんでした。ゴールまで行くとパンがぶら下がつているので、大好きなクリームパンを「ゲット」できてうれしかったです。あとは、最後にボーリングをしてみました。ペットボトルをサッカーボールで倒すのですが、一回目は当たらず二回目に三本倒す事ができました。2種目共、なかなか難しかったです。達成感が有つてとても楽しかったです。親子で一緒に楽しめる所が良かったと思ひます。



▲上手にできるかな?



# 指導者ゲーム研修会



三条地区 宮新田子ども会

指導者 宮原 由希

ゲームを通じて健全な仲間づくりを進め、心身成長していく活動を促進するのが子ども会。私はただ、子供達が楽しめる事ができたのならそれでいいと考えていましたが、何より大事なのはその活動は子供達が自主的に取り組んでこそ意味があるものでした。当日レクリエーションゲームでじゃんけんゲームをしました。

生まれて初めて覚えたといっているコミュニケーションのジャンケン！ 中でも印象に残ったのはジャンボじゃんけんでした。3人組でじゃんけんの「グー」(全員じゃがむ)「チョキ」(3人しゃがんで2人手を上げて立つ)「パー」(全員手を上げ立つ)を表現し、対戦相手を決め、相談後じゃんけ



▲子供達が仲良く楽しめますように

んする。皆さん初めてお会いした方達ばかりでしたが、同じ所で笑ったりがったりしたり、大人でもとても親近感がわき楽しめました。自分から意見を出し、みんなの意見も聞く。楽しさを共感できる事で自分という存在の価値観となります。子供達の自主的な取り組みで仲間づくりができる事を考え、これからの活動を見直すよい機会を戴きました。

大徳連区 西五城子ども会

指導者 杉浦 博子

3月24日、尾西スポーツセンターにて、24年度連区代表指導者ゲーム大会が行なわれました。参加する前は、「どんなことをするのだろうか」又、「自分は、性格上、指導者としては向いていないのに」不安と密かな期待が入り混じった感じで臨みました。研修会は、愛知県レクリエーション協会事務局長の亀井千春氏をお迎えし、お話を聞きました。ゲームでは、「ジャンケン」を元に簡単な動作から始まります。徐々に高度に、そして最後は、皆が一つの目的に向かって、知らない同士、無我夢中でゲームに没頭していました。私自身も童心に帰ったように楽し

# KYT研修会

宮西連区

安全部長 近藤勢津子

四月十七日、一宮市消防本部にて救急法・KYT研修会



▲いざという時のための心構えは大切

しんでいました。このゲームのすばらしさは、何の道具・準備がなくてもここまで、遊びを広げられることです。とても感動しました。今の時代、いろんな事情もあり、屋外で遊べる子は少ないと思います。子ども会では、低学年・高学年迄、一緒に行事・清掃等に参加することに意義があります。遊びを通して、学べること。子供達に楽しんでもらえるように努力して、自分自身も楽しんでやっていきたいと思っています。この研修会に参加して良かったです。

が行われました。消防本部救急隊員の方よりAEDの使用法・心肺蘇生法について説明を受けました。今は公施設や大型量販店にAEDが設置されていますが、使い方は知りませんでした。今回研修会に参加したことで、応急手当の重要性、AEDの基本操作はそれ程難しくないと知りました。今後はいざという時はためらわず勇気を出して行動したいと思えます。KYTの研修は子ども自身に「自分の安全は自分で確保する」という態度・心構えを持たせ事故やケガをなくして

## 表彰

去る4月28日、子ども会指導者研修会の席上で、多年にわたり、子ども会活動の推進にご尽力された左記のみなさんが、一宮市長より感謝状を贈呈されました。

永年在職者(10年以上)

神山連区児童育成協議会

森 せつ子様

北方町連区児童育成協議会

平野きぬ子様

大志連区児童育成協議会

木全恵美子様

向山連区児童育成協議会

山口 成子様

奥町連区児童育成協議会

小川 恵美様

いくためのものです。今は親がすぐに子どもを危険から遠ざけてしまう傾向があります。実際に危険と直面した時の対処方法がわからない子ども達のために、KYT研修会はとても重要だと思えました。

## 行事予定

○各連区 球技大会

各連区で決まった日時

○年少リーダー研修会

9月8日(土)

○福祉とボランティア活動展

10月20日(土)・21日(日)

○新年子ども会大会

1月12日(土)

○指導者代表研修会

2月9日(土)

○新指導者ゲーム研修会

3月24日(日)

## 編集後記

新年度が始まりました。各子ども会でも新生活を迎え、楽しく活動していることでしょう。そうした行事をなるべくたくさん紹介していきたいと思えます。一年間どうぞよろしくお願いします。

(山田いづみ)

## 広報委員

渡部 規子・宇野 笑子

田中比登美・田島麻友美

山田いづみ